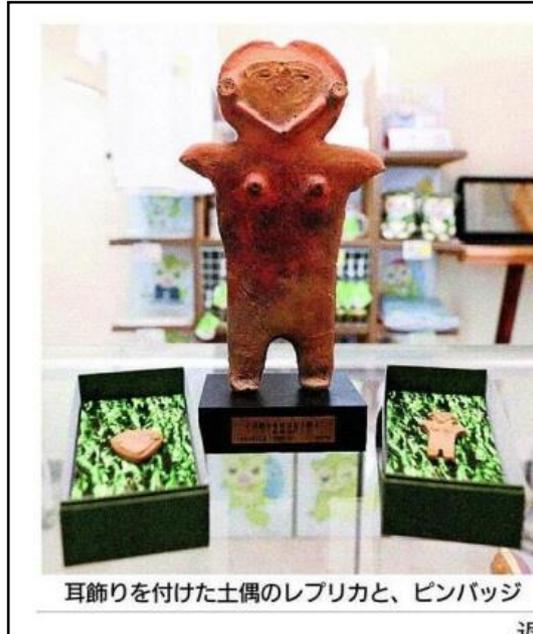


年 組 名前：



耳飾りを付けた土偶のレプリカと、ピンバッジ

## 土偶レプリカ返礼に

### 都留市のふるさと納税

都留市は、ふるさと納税の返礼品に市内で出土した土偶の実物大レプリカを加えた。色や形を忠実に再現している。担当者は「市に興味を持つきっかけになれば」と話している。

土偶は1972年、同市小形山の中谷遺跡からほぼ完全な形で出土した。高さ約23センチ、肩幅約13センチ。頭部に円形の耳飾り一對を着けている。縄文時代晩期に作られたとみられ、74年に市指定文化財、96

年には県有形文化財にそれぞれ指定された。実物はミュージアム都留で展示されている。

レプリカは東京芸術大の協力で、高精細3Dプリンターを使用して製作した。実物を測定し、大きさや色、形を忠実に再現。20体をつくり、それぞれにシリアルナンバーを入れた。

1口10万円の納税に対する返礼品として用意し、土偶のレプリカ1体と土偶をモチーフにしたピンバッジ二つがセットになっている。市の特設サイトからクレジットカードなどを利用した納税が可能で、なくなり次第終了する予定。

返礼品を企画した市観光振興公社の宇佐美恵子さん(64)は「かわいらしい土偶をきっかけに、市に興味を持ってもらえればうれしい」と話していた。

問1 1972年に都留市で出土した土偶を、説明してください。

サイズ .....  
 特徴 .....  
 .....

問2 土偶レプリカは、どのように製作されていますか。

.....  
 .....

(2022年5月31日付 山梨日日新聞 16面)

問3 担当者は、どのような思いで土偶レプリカの返礼品を、企画したのでしょうか。

.....

問4 あなたの住んでいる市町村で、自慢できるものを書いてください。

.....